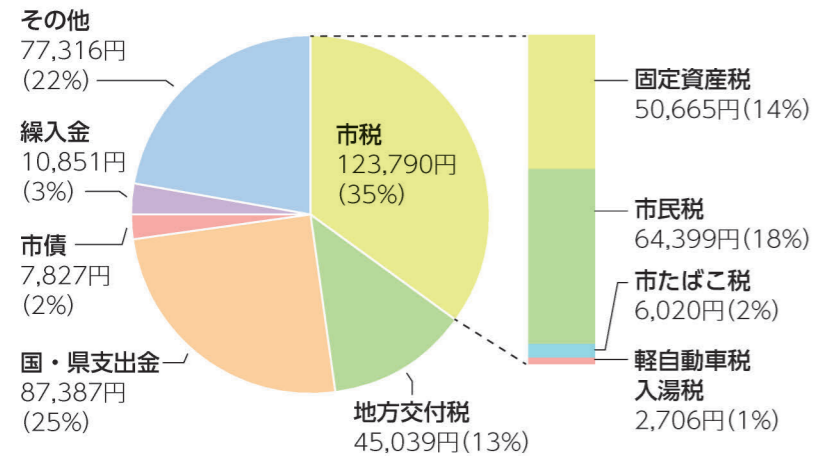


## 税金の負担額および使用額

1人当たりの負担額…12万3,790円  
1人当たりの歳入額…35万2,210円



### 市民1人当たりの負担額は？

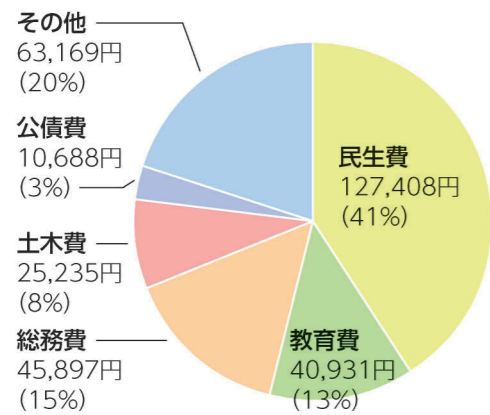
令和4年度の税収を1人当たりの負担額で表すと、市民税や固定資産税などの市税が12万3,790円となりました。

それに対して1人当たりの歳入は31万3,328円となっています。

その差額の部分を、地方交付税や国・県支出金などの国・県から交付されるお金や、家庭でいえばローンに当たる市債の借入によって補っています。



1人当たりの歳出額…31万3,328円



### 市民1人に、どれくらいのお金が使われたの？

1人当たりに使われたお金を主な目的別で見ると、児童手当支給事業や子ども医療費助成、障害者福祉事業などの民生費で12万7,408円、市立小・中学校や学校給食センター運営・維持管理事業などの教育費で4万9,311円、市民バス運営事業などの総務費で4万5,897円、市道や公園の維持管理事業などの土木費で2万5,235円、地方債の償還費用として公債費で1万6,688円となり、全体として1人当たりに使われたお金は31万3,328円となりました。

## 令和4年度 富谷市決算・事業報告

令和4年度決算が、令和5年第3回富谷市議会定例会で認定されました。

皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているかお知らせします。

問 財政課 ☎022-358-0619

【一般会計の決算状況】	
歳入	183億9,066万円 (192億6,854万円)
歳出	163億6,040万円 (179億1,413万円)
翌年度に繰り越すべき財源	4億8,543万円 (2億9,938万円)
実質収支	15億4,483万円 (10億5,503万円)

※( )は令和3年度の決算額です

### 【令和4年度決算の概要】

一般会計の歳入は、183億9,066万円（前年比4.6%減）、歳出が163億6,040万円（前年比8.7%減）で、歳入歳出差引額（形式収支）は20億3,026万円です。この額から令和5年度に繰り越した事業に必要な財源4億8,543万円を除いた実質収支は15億4,483万円の黒字となりました。黒字分は令和5年度の事業に充てるほか、今後の蓄えとして、令和5年度補正予算を通して基金に積み立てます。

なお、一般会計の「市債残高」が5年連続で減少したことに加え、「実質単年度収支」の黒字も5年連続で確保しています。「基金残高」についても増加（5年連続の最高水準を更新）するなど、健全な財政運営が行われています。

※各数値は、令和4年度富谷市各種会計決算書をベースとして作成しています。



令和4年10月23日開催 七ツ森ハーフマラソン大会

## 健全な財政運営に努めています

### 健全化判断比率・資金不足比率

市は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。実質公債費比率は昨年度と同値の▲2.3となっており、昨年度に引き続き、県内市の中で最も健全な数値となっています。なお、昨年度の本市の比率は、政令市を除く全国の一般市と特別区を合わせた795団体のうち、上位21番目でした。

○健全化判断比率 一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

区分	富谷市	早期健全化基準	内容
実質赤字比率	—	13.31	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	18.31	全ての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	▲2.3	25.0	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	—	350.0	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

※赤字比率や将来負担比率は算定されないため、「—」表示。

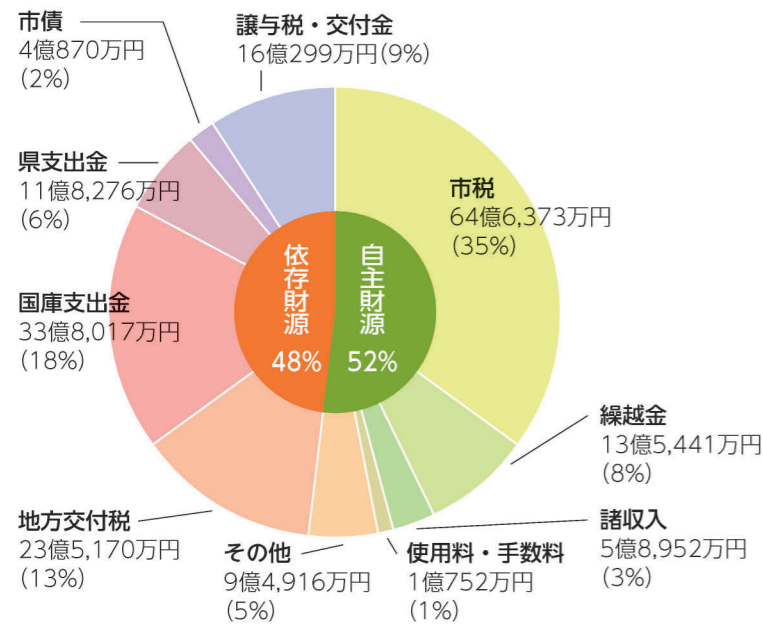
### ○資金不足比率

市の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する新たな指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取組が必要となります。



# 一般会計 歳入 183億9,066万円



## 市民1人あたりに換算すると…

項目	令和4年度	令和3年度
市税	12万3,790円	11万9,394円
国・県支出金	8万7,387円	11万8,752円
地方交付税	4万5,039円	4万4,413円
市債	7,827円	6,981円
その他	8万8,167円	7万8,363円

※R5.3.31現在の住民基本台帳人口 52,215人で算出しています。  
 ※R4.3.31現在の住民基本台帳人口 52,374人で算出しています。

## 自主財源

94億6,434万円(52%)

市税や使用料など、市が国・県に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

## 依存財源

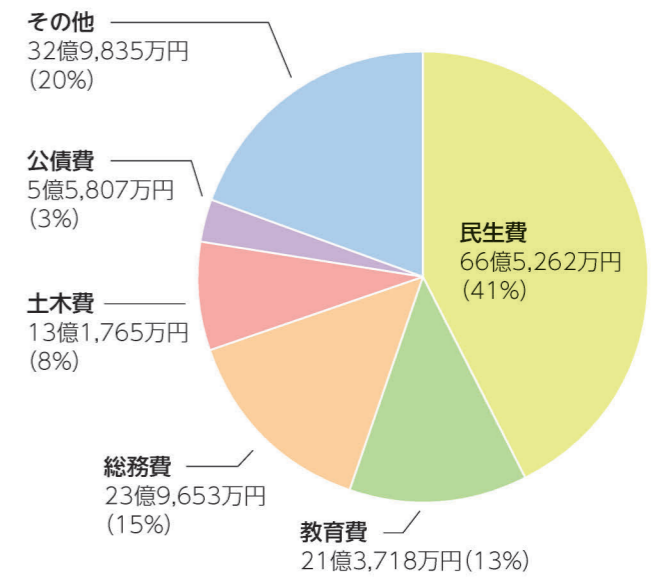
89億2,632万円(48%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、市債も依存財源に該当します。

## 用語解説

- 市税** 皆さんが市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）
- 繰越金** 令和3年度から令和4年度へ繰り越したお金
- 地方交付税** 全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金
- 国・県支出金** 国や県が使い道を決めて交付するお金

# 一般会計 歳出 163億6,040万円



## 市民1人あたりに換算すると…

項目	令和4年度	令和3年度
民生費	12万7,408円	14万9,849円
教育費	4万 931円	4万1,668円
総務費	4万5,897円	4万3,477円
土木費	2万5,235円	3万3,988円
公債費	1万 688円	9,490円
その他	6万3,169円	6万3,570円

※R5.3.31現在の住民基本台帳人口 52,215人で算出しています。  
 ※R4.3.31現在の住民基本台帳人口 52,374人で算出しています。

歳出は、民生費が全体の約41%を占め、子ども医療費助成や認可保育所・放課後児童クラブ等への運営補助のほか、低所得子育て世帯への生活支援特別給付金の給付などを行いました。

また、教育費では、各小中学校・幼稚園の管理運営のほか、県制150周年を記念した七ツ森ハーフマラソン大会（大和町との共同開催）の運営などを行いました。

## 用語解説

- 民生費** 児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費
- 教育費** 小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費
- 総務費** 防犯、交通安全、市民バスの運行などの経費
- 土木費** 道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費
- 公債費** 市が借りたお金やその利子を返還するための経費
- その他** 衛生費、消防費、商工費、議会費、農林水産業費などの経費

## 正味プライマリーバランスと基金残高の推移

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市債発行額：A	596,500	420,000	380,000	495,600	290,000
公債費：B	567,228	506,679	468,629	753,992	518,828
内訳					
元金	534,084	470,512	429,814	710,831	470,672
利子	33,144	36,167	38,815	43,161	48,156
正味プライマリーバランス C=B-A	△ 29,272	86,679	88,629	258,392	228,828

※正味プライマリーバランス（本市独自財政分析用語）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1. 財政調整基金	5,040,795	4,954,040	4,624,260	4,574,725	3,997,718
2. 減債基金	566	565	4,854	4,850	204,819
3. その他特定目的基金	2,568,185	2,642,074	2,688,904	2,678,495	2,692,090
合計	7,609,546	7,596,679	7,318,018	7,258,070	6,894,627
対前年度比増減額	12,867	278,661	59,948	363,443	399,831

## 特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の決算状況

会計	収入決算額	支出決算額	内容
市営墓地特別会計	1億8,806万円	1億8,806万円	墓地整備費
国民健康保険特別会計	40億8,320万円	40億4,285万円	医療費の支給、特定健康診査など。
介護保険特別会計	30億6,512万円	28億7,980万円	介護サービス給付費など。
後期高齢者医療特別会計	4億6,245万円	4億5,158万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など。

会計	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億4,715万円	9億2,225万円	収入のほとんどは水道料金で支出は受水費や配水および給水費、固定資産の減価償却費など。
資本的収支	1億5,926万円	2億6,947万円	支出は配水管耐震化工事などの建設改良事業費や企業債償還金など。

会計	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億3,807万円	10億9,349万円	収入は下水道使用料など。支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など。
資本的収支	2億3,961万円	3億3,654万円	収入は国庫補助金など。支出は汚水中継ポンプ場建設工事などの建設改良事業費や企業債償還金など。



# 令和4年度に実施した主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

## 1. 暮らしを自慢できるまち！

### (1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

**企業誘致事業（産業観光課）**……………737万円

高屋敷西地区に2社が立地表明し、企業立地奨励金により1社に支援を行いました。宮城県企業立地セミナーに参加し、宮城県と連携を図りながら富谷市の工業用地をPRしました。また、3年ぶりに、市内企業等がマッチングや情報交換する場としてビジネス交流会を開催し、新たなビジネスの創出や事業拡充を支援しました。

**(仮称)テレワークセンター整備事業（産業観光課）**……………5,069万円

かつて宿場町「富谷宿」の要衝であった「荷宿」の歴史を持つ建物をテレワークおよび地域交流の役割を持つシェアオフィス「富谷市ビジネス交流ベース」として改修整備しました。  
※デジタル田園都市国家構想推進交付金（3,562万円）を活用。



### (2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

**農作物有害鳥獣等駆除事業（農林振興課）**……………705万円

農作物被害防止対策として、8地区の農家に対して電気柵の設置助成を行ったほか、宮城県鳥獣被害防止対策支援事業を活用し、新たに2地区で10.8kmの物理柵を設置し、令和3年度以前に設置した9地区の62.8kmの維持管理支援を行いました。

**観光物産振興対策事業（産業観光課）**……………1,110万円

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会主催イベントなど、さまざまな機会を活用して、市公式キャラクター「ブルベリッ娘&ブルピヨ」のPR、地場製品の販売促進や開発と交流人口の拡大に資する取組を行いました。  
※地方創生推進交付金（500万円）を活用。

**富谷宿観光交流ステーション運営・整備事業（産業観光課）**……………5,107万円

指定管理者による運営管理のほか、とみやどの集客力向上につながる施設として、新たに「マルシェ広場交流館」を整備しました。  
※地方創生推進交付金ほか（3,597万円）を活用。



### (3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

**新公共交通システム推進事業（企画政策課）**……………535万円

富谷市新たな都市交通システムの事業化検討調査を実施し、仙台市泉中央駅から富谷市明石台地区までの約3.4km区間において、地下鉄整備に向けた事業の実行性・成立性や、官民連携による地下鉄整備の可能性の検討を行いました。

**市民バス運営事業（企画政策課）**……………5,752万円

北部黒川病院線の夕方の便を1便増便し、市民バスの利便性の向上を図り、公共交通の利用促進策を推進しました。



**デマンド型交通運行事業（企画政策課）**……………1,157万円

市民バスの代替手段となる新たな交通網の形成を目指し、実証運行を行っていたデマンド（予約乗合）型交通について、本格運行を開始し、利用者ニーズに柔軟に対応した運行形態の改善を行うなど、利便性の向上を図りました。

**側溝整備事業（都市整備課）**……………1億6,333万円

富ヶ丘、鷹乃杜、とちの木3地区において、側溝の有蓋化による排水機能の改善と歩行者の安全を確保するため、有蓋化工事を実施し、令和4年度にとちの木地区の有蓋化工事が完成しました。  
※緊急自然災害防止対策事業債（1億6,330万円）を活用。

### (4) 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

**一般公園維持管理事業（都市計画課）**……………1億36万円

環境保全、景観向上、防災対策等の観点から公園機能の充実を図るとともに、市民の憩いの場や交流の場、健康づくりの場として安全で快適な活用を図るため、都市公園90か所の維持管理を行いました。  
※防災・安全社会資本整備総合交付金ほか（426万円）を活用。

**(仮称)やすらぎパークとみや整備事業（生活環境課、都市整備課、生涯学習課）**……………3億2,980万円

令和4年1月に着工した整備工事については、当初の計画どおり進めるとともに、管理棟の実設計についても、予定どおり完了しました。

**大亀山森林公園維持管理事業（都市計画課）**……………1,917万円

自然と触れ合える身近な森林および、レクリエーションやコミュニケーションの場として充実を図るため、アスレチック遊具の修繕や広場の除草等を行いました。

## 2. 教育と子育て環境を誇るまち！

### (1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

**不登校特例校西成田教室運営・維持管理事業（教育総務課・学校教育課）**……………649万円

東北初の不登校特例校となる富谷中学校西成田教室を令和4年4月に開設しました。市内全域より18名の生徒が在籍し、令和4年度の卒業生については、全日制を含め全員が進学しました。

標準授業時数1,015時間を確保し、周辺環境を生かしながら、地域人材の積極的な活用による総合的な学習の時間を充実するなど、独自のカリキュラムでの効果的な少人数指導に取り組みました。



**教育支援センター運営事業（学校教育課）**……………1,741万円

不登校傾向などの学校生活に何らかの困難を抱える児童生徒に対して、小中学校および富谷中学校西成田教室などと情報共有しながら、学校復帰や自立支援に向けた適切な支援に努めました。

※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業補助金（720万円）を活用。

**外国語指導助手（ALT）活用事業（学校教育課）**……………2,424万円

新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、外国語指導助手5人による外国語指導の補助、外国文化の理解促進、外国語によるコミュニケーション等を行いました。

### (2) あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

**図書館等複合施設整備事業（生涯学習課）**……………2,940万円

公募型プロポーザルによる審査を行い、柔軟かつ高度な発想力・設計能力を持つ設計者を選定しました。また、ワークショップを3回開催し、市民の意見を取り入れながら、基本設計図書の作成を行いました。

**セツ森ハーフマラソン大会運営事業（生涯学習課）**……………1,442万円

令和4年10月に、県制150周年記念事業として住民の健康増進、交流人口拡大による地域活性化などを目的に開催しました。

全国から1,778人の参加があり、市をPRする良い機会となりました。



### (3) 伝統と文化を誇れるまちを創ります

**マーチングフェスティバル運営事業（生涯学習課）**……………242万円

とみやマーチングエコーズや市内小学校金管バンドなど10団体が出演し、3年ぶりに開催することができました。また、従来の混雑等の課題の対策として、インターネットによる座席の事前申込制を導入するなど、これまでにない新しい運営方法に力を入れました。

### (4) 地域で子育てを支えるまちを創ります

**認可保育所運営事業（子育て支援課）**……………13億8,418万円

保育事業者の理解と協力により、4年連続待機児童ゼロを達成しました。保育事業者と情報交換を密にし、安全・安心な保育所運営を行うとともに、保育士の処遇改善を図るための臨時特例補助金を活用し、更なる保育士の就労環境の充実に努めました。

※子どものための教育・保育給付費負担金ほか（8億7,049万円）を活用。

**乳児見守りおむつ等お届け便事業（子育て支援課）**……………303万円

子育てしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の精神的・経済的負担軽減を図り、安心して子どもを産み育てる地域を推進するため、県内初の取り組みとして、乳児を養育している家庭に対し、おむつ等の支給を実施しました。



**妊産婦支援事業（子育て支援課）**……………3,869万円

健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎え、産後の母子が健やかに過ごせるよう、母子健康手帳の交付や妊産婦健診の助成などの経済的支援を行いました。また、妊娠期の栄養や健康について、父親も育児に関心が持てるようプレママ・プレパパ学級を実施しました。

また、新たに産後ケア事業に宿泊型を追加支援拡充に努めました。

※母子保健衛生費補助金（598万円）を活用。

**放課後児童クラブ運営事業（子育て支援課）**……………2億5,163万円

委託事業者との定期的な会議開催等を通して情報交換を密にし、安全・安心な児童クラブの運営に努めました。

富谷、富ヶ丘、成田小学校児童クラブでは、学校の余裕教室等を利用してサテライトを実施し、定員の拡大を図りました。

※子ども・子育て支援交付金ほか（1億86万円）を活用。

**子ども医療費助成事業（子育て支援課）**……………2億6,626万円

令和5年10月診療分より、子ども医療費の完全無償化を実施するため、関連条例の改正を行いました。  
※乳幼児医療助成事業費補助金（2,266万円）を活用。





### 3. 元気と温かい心で支えるまち！

#### (1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

**高齢者交流事業（長寿福祉課）** ..... 76万円

高齢者の生きがい・仲間づくりの推進、心身の健康の維持を目指し「ゆとりすとクラブ・サロン」等の運営を支援しました。



**地域包括支援センター運営事業（長寿福祉課）** ..... 7,818万円

市内3か所の生活圏域の地域包括支援センターにおいて、地域支援事業の推進、総合相談支援業務・権利擁護業務・認知症総合支援事業等に取り組み、関係機関と連携しながら適切な支援に努めました。

**地域と施設の支え合いモデル事業（長寿福祉課）** ..... 97万円

コロナ禍により対面活動に制約がある中、リモートや屋外での活動のほか、地域のボランティアや施設職員との交流会・情報交換会を開催するなど、感染拡大防止に努めながら事業を実施しました。



**高齢者補聴器購入費助成事業（長寿福祉課）** ..... 84万円

聴力機能の低下により日常生活に支障のある高齢者に対し、2万円を上限として補聴器の購入に要する費用の助成を宮城県内初の事業として令和4年度より開始しました。

地域交流や社会とのつながりを支援し、高齢者の認知症やフレイルの進行予防に資することを目的として相談体制を整備し、42件の助成を行いました。

**住民検診事業（健康推進課）** ..... 1億5,381万円

受診機会の確保と受診率の向上を目指し、休日・夜間検診や胃がん未検者検診、年齢該当者への子宮がん・乳がんの無料検診を実施するとともに、乳がん検診時の乳幼児見守りサービスや胃がん・乳がん検診におけるがん検診センターでの受診機会の確保など、受診しやすい環境整備に努めました。

また、精密検査対象者への受診勧奨と受診状況の把握に努め、早期治療・重症化予防を図りました。

※健康推進事業等補助金ほか（299万円）を活用。

**地域医療推進事業（健康推進課）** ..... 5,188万円

公立黒川病院の安定的な運営・維持管理に要する費用の一部を負担するとともに、医師会および地域の医療機関と連携して休日当番医事業を行い、市民の医療環境整備に努めました。



#### (2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

**地域生活支援事業（地域福祉課）** ..... 4,409万円

障がい者（児）がその有する能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた福祉サービスの提供を行いました。また、庁舎内に配置している相談支援専門員による「富谷市障がい者等相談支援事業」はライフステージに応じた切れ目のない支援を行うコーディネーターの機能を生かし、関係機関と横断的連携を図り支援を行いました。

※地域生活支援事業等補助金ほか（1,255万円）を活用。

**障がい者就労支援事業（地域福祉課）** ..... 3,016万円

地域活動支援センターでは、感染対策等に留意しつつ、ほぼコロナ禍前の事業展開を行い、通所者の生活リズムや習得した能力等が途切れないよう努め、社会生活能力が向上し、1人の方が一般就労へ移行しました。

障害者優先調達推進法に基づき、調達方針を定めて取り組んだ結果、目標額50万円を上回る73万円となり、障害者就労施設等の受注増大につながりました。



**高齢者・障がい者交通対策事業**

・外出支援乗車証とみぽす

**高齢者分（長寿福祉課）** ..... 2,190万円

**障がい者分（地域福祉課）** ..... 240万円

70歳以上の方や60歳以上の免許返納者、18歳以上の障害者手帳所持の方を対象として、高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぽす」を交付しました。



#### (3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

**自治振興事業（市民協働課）** ..... 1,710万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のさまざまな活動が制約された中で、継続して町内会の運営に対して補助金を交付し、地域活動の充実・強化を図りました。

**重層的支援体制整備事業移行準備事業（長寿福祉課）** ..... 570万円

複雑化・複合化した課題に対応し、属性を問わない包括的な支援体制を構築するため、「相談支援」・「参加支援」・「地域づくり」を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」の運用開始に向けた移行準備事業に着手しました。

### 4. 市民の思いを協働でつくるまち！

#### (1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

**住宅地震災害対策事業（都市計画課）** ..... 555万円

昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断に対して6件、改修工事に2件の助成を行いました。また、通学路や避難路の沿道を中心に、倒壊の危険性のある24件のブロック塀の調査を行い、10件のブロック塀が補助を活用し除却されました。

※防災・安全社会資本整備総合交付金ほか（341万円）を活用。

**防犯設備整備事業（防災安全課）** ..... 225万円

犯罪のない安全安心なまちづくりの実現に向け、犯罪の抑制に効果的な防犯カメラを設置しました。



設置に当たっては、大和警察署と協議の上、効果的な場所への設置を行い、犯罪の抑制、録画情報による加害者の特定等の成果を上げています。

※市町村振興総合補助金（100万円）を活用。

**道路交通安全施設整備事業（都市整備課）** ..... 6,774万円

生活道路や通学路の安全対策として、明石台地区において可搬型ハンブを活用した試験を行い、同地区の幹線道路においては歩道に視覚障害者誘導用タイルを整備し、歩行者の安全を図りました。



※道路局所管補助金（517万円）、公共事業等債（380万円）を活用。

#### (2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

**一般廃棄物収集運搬処理事業（生活環境課）** ..... 2億6,176万円

廃棄物の処理および清掃に関する法律や資源有効利用促進法に基づき、効率的に収集・運搬を行い、適正処理に努めました。

**リサイクル推進事業（生活環境課）** ..... 777万円

分別収集されるごみのほか、直接搬入されるごみについても使用済小型家電等の分別を行い、積極的な資源化を図りました。また、小型家電の一斉回収を行い、1.9トンの小型家電を回収しました。



#### ゼロカーボンシティ推進事業

**（企画政策課・生活環境課）** ..... 3,911万円

令和3年度に策定した「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」を具体化するため、再エネの導入可能性調査や先進地視察、市民啓発事業などの実現方策調査を行いました。



また、気候変動・エネルギー政策に取り組むことを誓約する「世界気候エネルギー首長誓約」に、東北で初めて賛同・署名しました。

併せて、市民が地球環境問題について理解を深め、実践することを後押しするため、地球温暖化や廃棄物減量に関する啓発冊子「未来へ」を作成し、全戸配布するとともに、公用車に電気自動車（C+ポッド）2台の導入およびFCバスの運行により、ゼロカーボンに向けた新たなライフスタイルの発信を行いました。

※二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金ほか（3,748万円）を活用。

#### 地域水素サプライチェーン継続実証事業

**（企画政策課）** ..... 1,140万円

環境省の補助事業として継続実施し、既存物流網と純水素燃料電池を活用した水素サプライチェーンを運用しながら、BCPの対応、水素輸送方法の効率化について実証事業および実運用を念頭に評価・検証を行いました。

※二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（686万円）を活用

#### (3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

**広報・広聴事業（広報とみや発行等）（市長公室）** ..... 1,486万円

「広報とみや」を毎月発行し市政に関する情報等の発信をラインやフェイスブック等のSNSを積極的に活用しました。また、報道機関に向けて、定例記者会見を開催し、市の施策やイベントの情報提供を行い、テレビや新聞等を通じて積極的に富谷市をPRしました。

※県広報配布事務委託金ほか（22万円）を活用。

**町内会館整備事業（市民協働課）** ..... 3,263万円

とちの木会館の増築等改修工事のほか、明石台第三会館床下修繕工事、ひより台一丁目会館建物地質調査等を行いました。

**ふるさと納税推進事業（財政課）** ..... 9,575万円

ふるさと納税による財源確保と地場産品のPRによる地域経済の活性化を図るため、新たな返礼品を追加するとともに、寄附申込専用ポータルサイトの追加やサイト内での特集広告、新聞折込・雑誌・カタログへの返礼品掲載、PRイベントへの出展等、各種広告の実施に取り組みました。